平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月23日

上場会社名　ニホンフラッシュ株式会社　　上場取引所　東
コード番号　7820　URL　http://www.nfnf.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 高橋　栄二
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括部長　(氏名) 庄野　淳　TEL 0885-32-3431
四半期報告書提出予定日　平成25年11月7日　配当支払開始予定日　平成25年11月26日
四半期決算補足説明資料作成の有無　:　無
四半期決算説明会開催の有無　:　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	5,544	10.3	801	28.5	804	27.4	544	20.8
25年3月期第2四半期	5,025	55.9	623	1,155.1	631	739.7	450	616.6

(注)包括利益　26年3月期第2四半期　1,085百万円　(137.6%)　25年3月期第2四半期　456百万円　(406.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	95.06	—
25年3月期第2四半期	78.71	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	13,966	8,094	58.0	1,414.01
25年3月期	12,199	7,123	58.4	1,244.34

(参考) 自己資本　26年3月期第2四半期　8,094百万円　25年3月期　7,123百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	10.00	—	20.00	30.00
26年3月期	—	10.00			
26年3月期(予想)			—	20.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　:　無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,300	18.0	1,980	8.2	1,980	7.0	1,350	11.2	235.83

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　:　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） ： 無

新規 ―社 （社名） 、 除外 ―社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「サマリー情報（注記事項）に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無

② ①以外の会計方針の変更 ： 有

③ 会計上の見積りの変更 ： 無

④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期2Q	6,100,000 株	25年3月期	6,100,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	375,605 株	25年3月期	375,605 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期2Q	5,724,395 株	25年3月期2Q	5,724,419 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なることがあります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済・金融政策などを背景に、輸出企業を中心とした企業業績の改善が見られるなど、全体としての景況感は改善されつつあります。

一方で、円安進行による原材料価格の上昇、欧米諸国における財政問題等の景気下振れ要因も存在し、依然として先行きは不透明な状況となっております。

このような状況の下、当社グループは、国内で安定した利益を確保するために、製造活動において効率化を図るための生産ラインの改善活動や、電気料金値上がり等に対する経費削減活動を継続的に実施し、生産性や歩留まりの向上、原価低減に積極的に取り組んでまいりました。これら活動の結果、国内の営業利益は前年同期に比べて大きく拡大いたしました。

受注活動に関しましては、主力の内装ドアの製造販売に加え家具収納を積極的に販売し、一戸当たりの売上増を図る等、販売の効率化に取り組んでまいりました。また、高齢者人口の増加に伴う高齢者施設向けの競争力を備えた新製品の開発や販売強化に積極的に取り組んでまいりました。これらの活動の結果、当第２四半期会計期間末における受注残高は4,225百万円（前年同期比36.3％増）となっております。

一方、中国の不動産市場を巡っては、中国政府は住宅バブル対策として、規制に乗り出していますが、規制対象は北京市や上海市などの大都市に限られており、また、対策も１世帯が２軒目を購入する場合の資格やローン利用の制限など限定的なものであります。

また、中国の総人口に占める都市居住者率は、先進国に比べるとまだまだ低く、中国の都市化は初期段階であり、今後も農村から都市への長期的な人口移動が続き不動産業の発展の余地は大きいと見込んでおります。

さらに、中国政府の保障性住宅の整備を背景に、内陸部等地方都市を中心に高い需要が継続するものと見込んでおります。また、中国政府の内装付住宅の推進により、当社グループの主力製品である室内ドア等、内装部材に対する需要は堅調に推移しております。

このような環境の下、高付加価値製品（高級塗装ドア）等の受注活動を積極的に行い、シェアの確保と取引先の新規開拓活動を積極的に進めてきた結果、当第２四半期会計期間末における受注残高は5,862百万円（前年同期比56.8％増）と順調に推移いたしました。

また、今後高い成長が見込まれる中国内陸部への供給体制の拡充を図るため、江西省宜春市に新工場の建設を進めてまいりました。新工場は天候不順等に起因する経済技術開発区のインフラ工事の遅延もあり、新工場建設計画が予定より遅延気味で進行しておりましたが、2013年9月1日から本格操業を開始しております。

中国国内での営業所は2012年12月末には15ヶ所でしたが、現在は、新工場稼動等を見据えて大幅に拡充し、省都を中心とした主要都市25ヶ所に展開し、ほぼ全土を網羅しております。今後も営業所の拡充を検討しつつ、代理店も増やして販売網の強化に努めてまいります。

以上の結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は5,544百万円（前年同期比10.3％増）、利益面では、営業利益801百万円（前年同期比28.5％増）、経常利益804百万円（前年同期比27.4％増）、四半期純利益544百万円（前年同期比20.8％増）となりました。

（２）財政状態に関する説明

当第２四半期連結会計期間末における資産総額は13,966百万円となり、前連結会計年度末より1,766百万円増加しております。これは主に、受取手形及び売掛金の増加492百万円,電子記録債権の増加276百万円、商品及び製品の増加332百万円、建物及び構築物の増加54百万円、有形固定資産のその他（純額）に含まれる建設仮勘定の増加174百万円によるものです。

負債総額は5,872百万円となり、前連結会計年度末より795百万円増加しております。これは主に支払手形及び買掛金の増加378百万円、短期借入金の増加376百万円によるものです。

純資産につきましては、8,094百万円となり、前連結会計年度末より971百万円増加しております。これは主に利益剰余金の増加429百万円、為替換算調整勘定の増加545百万円によるものです。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末より0.4％減少して58.0％となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年３月期の業績予想につきましては、平成25年５月８日に公表しました通期の業績予想の数値から変更はございません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第２四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率に乗じて計算しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（在外連結子会社の収益及び費用の換算方法の変更）

従来、在外連結子会社の収益及び費用は決算日の直物為替相場により円貨に換算しておりましたが、在外連結子会社の重要性が増加傾向にあり、かつ、近年の為替相場の変動も大きいことから、換算に期中平均為替相場を用いることが在外連結子会社の業績をより適切に連結財務諸表に反映させることになるため、第１四半期連結会計期間より期中平均為替相場により円貨に換算する方法に変更しております。

当該会計方針の変更は遡及適用され、前第２四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前第２四半期連結累計期間の売上高は24,838千円、営業利益は5,474千円、経常利益は5,292千円、四半期純利益は3,969千円、それぞれ増加しております。また、前連結会計年度の期首の純資産に累積的影響額が反映されたことにより、利益剰余金の前期首残高は990千円増加し、為替換算調整勘定の前期首残高が同額減少しております。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,094,135	958,975
受取手形及び売掛金	5,253,691	5,746,321
電子記録債権	434,705	711,039
商品及び製品	350,696	683,005
仕掛品	94,399	105,297
原材料及び貯蔵品	297,599	325,868
繰延税金資産	49,271	61,903
未収入金	32,475	39,939
その他	276,360	706,456
貸倒引当金	△44,000	△43,000
流動資産合計	7,839,336	9,295,808
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,078,377	1,133,282
土地	962,125	962,125
その他（純額）	832,527	1,046,006
有形固定資産合計	2,873,031	3,141,414
無形固定資産		
その他	132,881	163,284
無形固定資産合計	132,881	163,284
投資その他の資産		
投資有価証券	1,035,206	1,035,381
関係会社出資金	44,700	44,700
会員権	72,995	72,995
その他	202,250	213,550
貸倒引当金	△664	△664
投資その他の資産合計	1,354,487	1,365,963
固定資産合計	4,360,400	4,670,662
資産合計	12,199,737	13,966,470

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,621,163	1,999,819
短期借入金	1,589,874	1,966,321
1年内返済予定の長期借入金	26,057	33,771
未払金	686,928	622,085
未払法人税等	304,607	247,780
未払消費税等	31,501	28,610
賞与引当金	44,245	65,652
その他	301,910	468,346
流動負債合計	4,606,290	5,432,388
固定負債		
長期借入金	16,286	1,218
繰延税金負債	28,725	26,764
退職給付引当金	166,136	152,569
長期未払金	259,180	259,180
固定負債合計	470,328	439,732
負債合計	5,076,618	5,872,121
純資産の部		
株主資本		
資本金	866,000	866,000
資本剰余金	691,000	691,000
利益剰余金	5,463,879	5,893,534
自己株式	△260,922	△260,922
株主資本合計	6,759,956	7,189,611
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	165,856	162,278
為替換算調整勘定	197,305	742,459
その他の包括利益累計額合計	363,162	904,737
純資産合計	7,123,118	8,094,349
負債純資産合計	12,199,737	13,966,470

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
売上高	5,025,552	5,544,411
売上原価	3,395,391	3,582,460
売上総利益	1,630,161	1,961,950
販売費及び一般管理費	1,006,511	1,160,842
営業利益	623,649	801,108
営業外収益		
受取利息	771	5,571
受取配当金	16,315	20,687
受取賃貸料	9,178	8,862
為替差益	－	49,422
その他	8,385	3,981
営業外収益合計	34,651	88,526
営業外費用		
支払利息	24,211	32,615
為替差損	1,428	－
手形売却損	－	50,669
その他	1,068	1,887
営業外費用合計	26,708	85,172
経常利益	631,592	804,462
特別損失		
固定資産除却損	10,237	201
特別損失合計	10,237	201
税金等調整前四半期純利益	621,354	804,261
法人税等	170,784	260,117
少数株主損益調整前四半期純利益	450,570	544,143
四半期純利益	450,570	544,143

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	450,570	544,143
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,254	△3,578
為替換算調整勘定	12,557	545,153
その他の包括利益合計	6,303	541,575
四半期包括利益	456,873	1,085,718
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	456,873	1,085,718

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。